

高機能化学合成



●医薬品、工業薬品、食品添加物の製造・販売等

三國製薬工業株式会社

▶TEL: 06-6333-5971 FAX: 06-6333-3387

▶URL: <http://www.mikuni-seiyaku.co.jp/>

独自の製法で「塩化リン」製品群では国内シェアトップ

ここが
スゴイ!

塩化リンを用いた、無機および有機塩化リン化合物の合成技術が同社の強み。技術的な困難を克服しながら20年以上前に独自の製法を確立し、「塩化リン（オキシ塩化リン、三塩化リン等）」では、国内トップシェアを誇っている。新薬の開発から農業分野をはじめ、工業用では半導体やリチウムイオン電池の原料にも使用されている。



工場内の反応器



健康補助食品

事業概要と躍進の契機

半世紀にわたってリン化合物の製造を手掛け、多様な産業分野のニーズに対応

人工甘味料の製造から事業をスタート。その後、リン化合物の製造を半世紀にわたって手掛けている。塩化リンを原料とする化学合成中間材料を、医薬品、農薬・肥料、化学品、自動車部品など多様な産業分野のニーズに応じて、開発・供給している。同社では、クライアントのオーダー以上の「プラスα」の技術価値を提供することをモットーに、お客様を喜ばすことを常に意識して、オンリーワン製品を届けている。

会社の強み・主力商品など

塩化リンの合成技術をコアに、技術志向を徹底

塩化リンの合成技術では、他の追随を許さないトップ企業。本社に併設する豊中工場では研究開発を主体に、水島工場では量産体制を整えている。研究開発部門に20%を超える人材を投入し、技術志向を徹底している。独自開発の製造設備も特長で、エンジニアリング会社に頼らず、そのほとんどを独自開発することにより、高品質で安定した品質を実現している。

今後の事業展開

医療・健康分野へ注力しつつ、回収・リサイクル技術の確立も目指す

半導体やリチウムイオン電池等の電材、特殊樹脂、難燃剤原料など、塩化リンの用途と需要は拡大している。今後もコア技術である塩化リンを軸に、医療・健康分野への注力を考えている。また、輸入に頼らざるをえない天然資源である原材料のリンを国内で確保するため、リンの回収・リサイクル技術の研究にも積極的に取り組んでいる。

●企業プロフィール

〒561-0823 大阪府豊中市神州町2-35
代表取締役社長 國貞眞司
設立:1947年(昭和22年)
従業員数:97名
資本金:4,800万円

企業メッセージ

「命の元素」である「リン」の認知度を高めていくことが必要だと考えています。活性汚泥等のリサイクル活用により生命維持に必要な「リン」を国内で確保するため、産学官でリン回収技術の確立に取り組んでいます。



代表取締役社長 國貞眞司